



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東
 コード番号 6187 URL http://litalico.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂本 祥二 TEL 03(5704)7355
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,438	20.6	192	24.8	192	26.1	131	27.5
29年3月期第1四半期	2,021	—	154	—	152	—	103	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.55	7.39
29年3月期第1四半期	5.99	5.87

(注) 当社は、平成28年3月期第1四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	4,703	1,871	39.7	107.35
29年3月期	4,144	1,738	41.9	100.02

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,868百万円 29年3月期 1,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,254	17.5	805	20.2	827	27.1	510	21.7	29.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	17,409,400株	29年3月期	17,385,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	17,393,312株	29年3月期1Q	17,194,059株

※ 四半期決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策等の効果により、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかし、米国や欧州の政治動向などによる海外経済の下振れリスクや、実質賃金の低迷による個人消費の低迷が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境においては、障害の重度・重複化、多様化に対応し、一人一人に応じた指導の充実を基本的考え方とした特別支援学校小中学部の新指導要領の改訂内容が公示されるなど、発達障害児支援が重点項目として取り上げられております。

また、障害者の就労分野においては、法定雇用率の算定基礎に精神障害者を加えることにより、民間企業の障害者雇用率を平成30年4月に2.2%、平成32年度末までに2.3%への引き上げを厚生労働省が決定したことで、障害者雇用に対する旺盛な需要が見込まれております。

そのような外部環境の変化を踏まえ、長期的利益の安定成長を実現するため、一般就労等を希望される障害者等を対象としたLITALICOワークス事業の一層の強化や業務効率の改善、発達障害がある児童を対象としたLITALICOジュニア事業への投資を継続しております。具体的には、当第1四半期累計期間の新規開設数は、就労移行支援事業3拠点、児童発達支援事業1拠点、放課後等デイサービス事業4拠点となりました。

このような事業環境のもと、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高2,438,113千円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益192,733千円（前年同四半期比24.8%増）、経常利益192,725千円（前年同四半期比26.1%増）となり、四半期純利益は131,331千円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

①LITALICOワークス事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第1四半期累計期間の売上高は1,207,043千円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

②LITALICOジュニア事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第1四半期累計期間の売上高は1,106,494千円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

③その他

既存拠点が順調に推移したこと及び、インターネット事業の拡大により、当第1四半期累計期間の売上高は124,576千円（前年同四半期比35.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して558,979千円増加し、4,703,222千円となりました。これは主に、投資有価証券の増加199,980千円、売掛金の増加148,394千円、建設仮勘定の増加110,369千円、現金及び預金の減少96,578千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して426,101千円増加し、2,831,508千円となりました。これは主に、長期借入金及び1年内返済長期借入金の増加400,021千円、未払金の増加79,591千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して132,878千円増加し、1,871,713千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上にとまなう繰越利益剰余金の増加131,331千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,682	531,103
売掛金	1,357,559	1,505,953
たな卸資産	4,932	4,719
前渡金	10,737	24,534
前払費用	108,778	142,952
繰延税金資産	12,029	12,029
未収入金	48,970	29,117
その他	2,155	3,474
貸倒引当金	△1,072	△1,047
流動資産合計	2,171,773	2,252,836
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,011,926	1,128,003
工具、器具及び備品	729,164	797,555
建設仮勘定	—	110,369
減価償却累計額	△387,911	△435,998
有形固定資産合計	1,353,179	1,599,929
無形固定資産		
ソフトウェア	97,037	96,907
ソフトウェア仮勘定	—	7,066
無形固定資産合計	97,037	103,974
投資その他の資産		
投資有価証券	11,667	211,648
出資金	20	20
長期前払費用	60,451	71,860
従業員に対する長期貸付金	321	236
敷金及び保証金	405,386	418,306
繰延税金資産	44,404	44,410
投資その他の資産合計	522,252	746,481
固定資産合計	1,972,469	2,450,385
資産合計	4,144,242	4,703,222

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	361,159	459,448
リース債務	25,875	23,972
未払金	346,239	425,831
未払費用	409,014	454,449
未払法人税等	126,817	58,987
預り金	114,415	133,391
前受収益	1,664	2,083
その他	42,335	18,998
流動負債合計	1,427,522	1,577,162
固定負債		
長期借入金	899,937	1,201,669
リース債務	24,596	16,737
長期未払金	53,350	35,939
固定負債合計	977,884	1,254,346
負債合計	2,405,406	2,831,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,268	334,760
資本剰余金		
資本準備金	293,268	293,760
資本剰余金合計	293,268	293,760
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,108,371	1,239,702
利益剰余金合計	1,108,371	1,239,702
株主資本合計	1,735,907	1,868,222
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	618	604
評価・換算差額等合計	618	604
新株予約権	2,310	2,887
純資産合計	1,738,835	1,871,713
負債純資産合計	4,144,242	4,703,222

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,021,962	2,438,113
売上原価	1,253,175	1,526,672
売上総利益	768,787	911,441
販売費及び一般管理費	614,299	718,707
営業利益	154,487	192,733
営業外収益		
受取利息	2	0
助成金収入	1,240	3,490
その他	926	707
営業外収益合計	2,168	4,197
営業外費用		
支払利息	3,681	2,804
支払手数料	—	1,125
その他	186	277
営業外費用合計	3,867	4,206
経常利益	152,788	192,725
特別利益		
新株予約権戻入益	—	510
特別利益合計	—	510
特別損失		
固定資産除却損	3,501	2,953
特別損失合計	3,501	2,953
税引前四半期純利益	149,287	190,281
法人税、住民税及び事業税	46,279	58,950
法人税等合計	46,279	58,950
四半期純利益	103,008	131,331

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,047,097	883,070	1,930,168	91,794	2,021,962
セグメント利益又は損失(△)	370,925	164,504	535,429	△46,769	488,659

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、インターネット事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	535,429
「その他」の区分の損失	△46,769
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△334,172
四半期損益計算書の営業利益	154,487

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,207,043	1,106,494	2,313,537	124,576	2,438,113
セグメント利益又は損失(△)	415,651	203,539	619,190	△33,212	585,978

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、インターネット事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	619,190
「その他」の区分の損失	△33,212
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△393,245
四半期損益計算書の営業利益	192,733

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。